

科目名 (Eng)	ビジネスセミナー(Business Seminar)								
担当教員	ビジネスコミュニケーション学専攻担当教員								
対象学年等	専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
	ビジネスコミュニケーション学専攻	1	通年	必修	2	(60)	専門	C	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-4-経) 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2) JABEE基準1(1)との対応：(d-(4))								
授業の概要と方針	本専攻の担当教員のもと、2年間にわたり、同一のテーマについて文献調査、調査、討論等の能動的実践を通して、創造的な研究開発能力を育成する。								
到達目標	実践的ビジネスマンとして相応しい専攻科修了論文を作成する。 ①新たな課題に取り組み、問題解決に向けて自主的に計画を立案できる。 ②研究を継続しステップアップできる能力を身につける。 ③調査、分析結果を論文にまとめる能力を身につける。 ④中間発表会や学会等で論理的なプレゼンテーションができる。								
授業計画	<p>1. 坪井晋也</p> <p>(1)テーマ：流通企業の経営的研究 (2)内容：これまで流通企業を対象とする研究は主に流通マーケティングの研究領域において議論されてきた。新たな視点、アプローチの必要性認識のもと、経営的側面からの分析、検討を試みる。</p> <p>2. 森川治</p> <p>(1)テーマ：ゲーム理論に関する研究 (2)内容：ゲームの理論は自己利益に導かれて行動する合理的人間が作り出す社会を分析研究する手法として誕生し、その応用は、経営学、経済学、生物学、社会心理学、国際関係論の分野に及ぶ。ビジネスセミナーでは、経済数学およびゲーム理論の基礎を文献を通して学ぶ。</p> <p>3. 渡部美紀子</p> <p>(1)テーマ：企業評価研究 (2)内容：企業評価の指標となる方法について学ぶ。基本的な経営分析手法のほか、企業価値やM&Aの計算及び処理手続きの手法についても学習する。</p> <p>4. 芥川一則</p> <p>(1)テーマ：観光産業の経済的効果についての研究 (2)内容：地域経済の活性化策として観光産業が着目されている。しかし、その経済効果はあまり考慮されていない。地方政府が観光産業に投資する場合を例にしてその効果の測定方法について検討する</p> <p>5. 平塚 力</p> <p>(1)テーマ：21世紀型の産業構造に関する研究 (2)内容：世界レベルでのIT(情報技術)の革新は、産業構造(ビジネス・アーキテクチャ)を大きく作り変えた。そこで今回は、21世紀型の産業構造を理解するための基礎概念を、関係する諸文献を通して読み解く。</p> <p>6. 松本行真</p> <p>(1)テーマ：①ヒット商品事例の検討②まちづくりにおけるマーケティング事例の検討(①または②一方を選択) (2)内容：①についてはヒット商品がどう市場に送り出されたかを、主にオープンデータ収集を通じて把握しこのプロセスがマーケティングの論理とどう関連しているのかを検討する。②についてはまちづくりの施策がマーケティングの論理とどう関わっているか、事例収集を通じて検討を行う。</p> <p>7. 米本 清</p> <p>(1)テーマ：公共経済学に関する研究 (2)内容：公共経済学の観点から、都市・地域政策および地方財政、意思決定、住民の厚生に関わる基礎理論を学習する。</p>								
試験について									
評価方法	課題提出80%、発表20%で総合的に評価する。								
教科書									
参考書									
関連科目									
履修上の注意	担当教員に分かれてセミナーを行う。								